

## 2019 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

国・地域名 [ Belize ]

学校名 [ San Marcos RC School ] 担当教諭名 [ Estivan Ico / 木村諒子(JICA) ] ( 6年 23名 )

日本学校名 [ 横芝光町立上塚小学校 ] 担当教諭名 [ 山本 一穂 ]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	Social Studies (社会科)	Japanese Culture, Marine Conservation	120
	Science (理科)	Water and Land Pollution	90

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	Protect our Ocean! (ポイ捨てを止めて、海の宝物を守ろう)
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	子ども達一人一人が、海の大切さを理解し、ゴミのない綺麗な海を守る。



(1) 完成した絵画(右側がサンマルコス小学校担当)



(2) 絵画作成風景(担任の先生が全体のデザインを担当、生徒一人一人が、海の生き物を制作した)



(3) 裏面の制作風景(生徒の希望があり、日本語での名前記入、クラスの集合写真)

■ 今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本についての理解が深まった。</li> <li>・生徒達が自分の意見を主張できるようになった。</li> <li>・環境や海洋保護への知識を得た。</li> <li>・チームワークを意識して、協力して作成した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手校について、限られた情報(写真のみの共有)しか得られなかった。</li> <li>・各学校の授業スケジュールとの兼ね合いで、準備や事前学習には、時間が十分とれたが、絵画制作の時間がタイトだった。</li> </ul>

■ アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本文化に関心がある子ども達が増えた。(日本と中国の違いを理解できるようになった。)</li> <li>・グループワークや発表を多く取り入れたことで、人前で話ができるようになった。</li> <li>・海をどうすれば守れるか、自分の意見が主張できるようになった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の文化を積極的に学ぼうとしてくれた。</li> <li>・絵画作成にも熱心に取り組み、筆の使い方や色の塗り方等の指導も行ってくれた。</li> </ul>

■ 主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活 動 内 容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ベリーズの様々な文化についての、調べ学習とグループ発表</li> <li>・日本についての文化紹介</li> <li>・学校紹介ビデオの作成(生徒達一人一人の自己紹介ビデオ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書等を参考に、各グループで協力して紹介資料を作成できた。</li> <li>・日本や相手校への関心が高まった。</li> <li>・自分の好きなもの等について、恥ずかしがりながらも、紹介することができた。</li> </ul>	社会科
共有 テーマ学習	9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsの学習</li> <li>・ゴミ問題、海洋汚染についてのテーマ学習、グループ発表(原因と解決策)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海をどうしたら守れるか、それぞれの意見を主張できるようになった。</li> <li>・色の作り方や、筆の使い方を学び、楽しくポスター制作を行った。</li> </ul>	社会科 理科

融合 メッセージ作成	10月 11月	・海洋保護のポスター作成	・色の作り方や、筆の使い方を学び、 楽しくポスター制作を行った。	社会科 理科
創造 壁画制作	1月	・絵画作成 ・日本語で自分の名前を書く	・担任の先生の指導のもと、生徒達は 協力して作成した。 ・相手校の生徒達に分かるように、日 本語が書きたいという要望があった。	社会科
評価 振り返り 自己評価	2月	・振り返りワーク ・相手校へのビデオメッセージ作成	・作成した絵にたいして、日本の生徒 達の反応を知りたがっていた。 ・プロジェクトが終わる事が嫌だという 生徒がいた。	社会科

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つけたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	4	ベリーズや自分の民族の文化紹介についての調べ学習。
異文化を理解する力	5	日本文化紹介、絵画作成時。
情報活用能力 (収集・まとめ・発信)	3	インターネットがない環境のため、限られた資料のなかでの学習だった。
コミュニケーション力 (双方向・共感・英語)	4	グループワークや発表。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	3	個人やチームで考えることはできていたが、全体での発表や相手への評価には消極的な生徒が多かったため。
主体的に考え行動する力	4	壁画作成やグループワークを通して。
他者と協働する力 (学級内・海外の相手)	5	壁画作成やグループワークを通して。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	5	ポスター作成、壁画作成を通して。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	3	積極的に発言をする生徒が少なかった。